

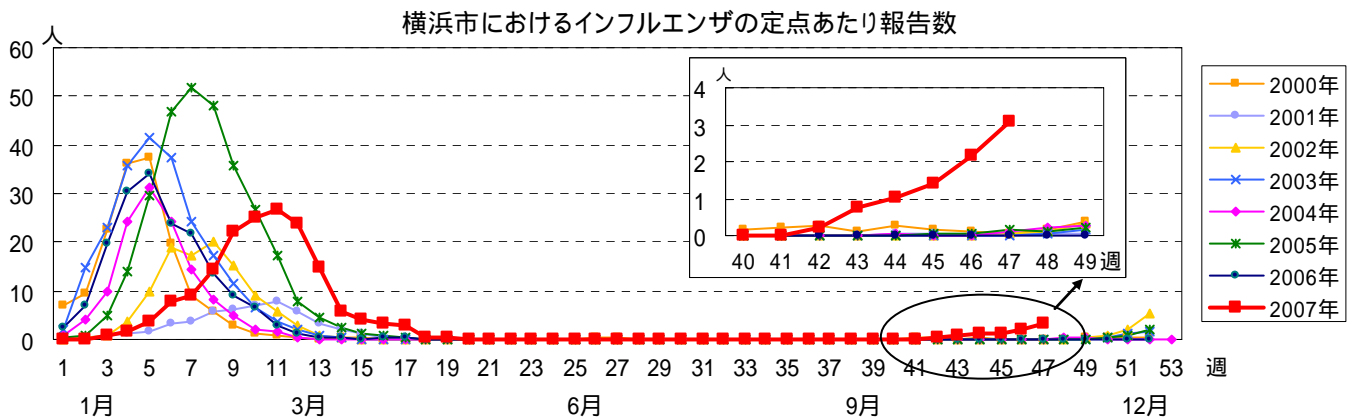
横浜市におけるインフルエンザ等の流行情報(その 4)

1. 感染症発生動向調査におけるインフルエンザの患者発生報告状況

(1) 患者定点医療機関からの患者報告状況

横浜市では、過去 6 年間の流行と比べて、最も早い第 44 週(10/29～11/4)に流行の目安となる「定点あたり報告数 1.0」を超えました。今シーズンは流行が早まっており、早期のワクチン接種が望まれます。

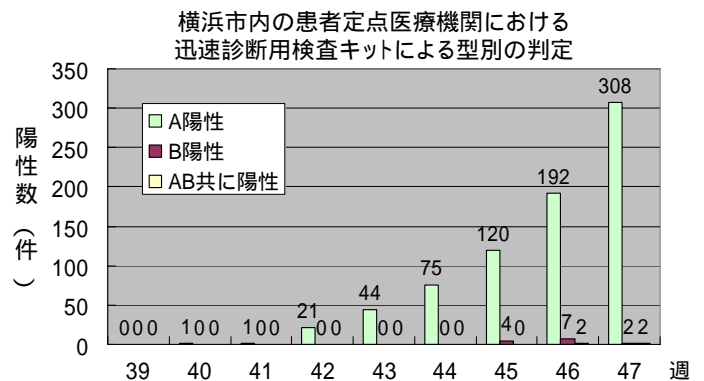
横浜市では、第 47 週(11/19～11/25)の患者定点医療機関からの患者報告数は 366 人(前週より 121 人増)、定点あたり報告数は 3.10(前週の 1.4 倍)と、増加しています。区別では、瀬谷(12.3)、青葉(8.2)、神奈川(4.9)、港北(4.7)、旭(3.7)、都筑(3.5)、戸塚(3.5)、港南(2.8)、緑(2.6)、西(2.2)、鶴見(2.2)、泉(1.8)、保土ヶ谷(1.3)、磯子(1.0)と 14 区で流行期に入っています。



また、横浜市内の患者定点医療機関のご協力でご報告いただいた迅速診断用検査キットによる型別の判定をグラフに示しました。第 47 週までの累計で、A陽性 762、B陽性 13、AB共に陽性 4 の報告がありました。

全国の第 47 週の定点あたり患者報告数は 1.53 と、全国レベルでも流行期に入りました。

流行期に入っている都道府県は、北海道、青森県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、富山県、山梨県、長野県、兵庫県、和歌山県、岡山県、山口県、沖縄県の 14 都道府県です。



全国および神奈川県、東京都の定点あたり患者報告数(総報告数÷報告のあった定点医療機関数)

	第 43 週 (10/22～10/28)	第 44 週 (10/29～11/4)	第 45 週 (11/5～11/11)	第 46 週 (11/12～11/18)	第 47 週 (11/19～11/25)
全国	0.20	0.26	0.50	0.94	1.53
東京都	0.39	0.61	0.64	1.02	1.45
神奈川県	0.57	0.65	0.99	1.75	2.64
横浜市	0.78	1.04	1.42	2.17	3.10
川崎市	0.13	0.52	0.85	1.51	3.06
県域(横浜、川崎除く)	0.57	0.42	0.71	1.50	2.07

(2) 学校等における集団かぜについて

市内の幼稚園、学校等からの集団かぜ等の報告は、11 月 30 日までに施設閉鎖 1 施設(10 学級)、学年閉鎖 1 施設(4 学級)、学級閉鎖 5 施設(11 学級)となっています。累計では、幼稚園 4 校、小学校 2 校の計 6 施設になりました。区別では、旭(2 施設)、緑(2 施設)、港南(1 施設)、港北(1 施設)から報告されています。

2. 感染症発生動向調査等におけるウイルス検出状況

全国的には、ここ数年間は大きな流行が見られなかったAソ連型が検出されています。これらは、今シーズンから使用されているワクチンと類似株とされていますが、最近横浜市内から検出されたウイルス株は、抗原変異が進みつつあるので、今後注意が必要です。

インフルエンザワクチンについて(http://www.city.yokohama.jp/me/kenkou/eiken/infection_inf/influvaccine1.htm)

(1) 病原体定点の検体からのインフルエンザウイルス検出状況

月集計および週数	定点数	検体数	インフルエンザ検出状況					
			A 型				B 型	
			H1(ソ連型)		H3(香港型)		分離	PCR*
			分離	PCR*	分離	PCR*		
2007 年第 43 週	3	9	2					
第 44 週	0	0						
第 45 週	4	10	1	2				
第 46 週	3	9	4	1				
第 47 週	3	8	2					
第 48 週	3	9	4	2				

*: ウイルス分離はされていませんが、遺伝子検査で検出されたものを計上します。

(2) 学校等における集団かぜからのウイルス検出状況

発生週	区数	施設数	検体数	インフルエンザウイルス検出数					
				分離			遺伝子*		
				AH1	AH3	B	AH1	AH3	B
第 45 週(11/5 ~ 11/11)	1	1 小学校	4	2			(2)		
第 46 週(11/12 ~ 11/18)	3	1 小学校	1	1					
		2 幼稚園	6(1)	5(1)			(1)		

検体数、検出数の()内は保護者で内数です。

*: ウイルス分離はされていませんが、遺伝子検査で検出されたものを計上します。

()内の数字は、NA 遺伝子(ノイラミニダーゼ領域の遺伝子)で N1 のみ検出していることから推定しています。

国立感染症研究所の病原微生物検出情報によれば、11月30日現在、全国の地方衛生研究所のインフルエンザウイルス分離状況は、AH1型158例、AH3型9例、B型1例です。(<https://hasseidoko.mhlw.go.jp/Byogentai/Pdf/data1j.pdf>)

その他の感染症に関する情報は http://www.city.yokohama.jp/me/kenkou/eiken/infection_inf/ をご覧ください。

横浜市健康福祉局 健康安全課 (TEL:671-2463)
 横浜市衛生研究所 感染症・疫学情報課 (TEL:754-9816)
 検査研究課ウイルス担当 (TEL:754-9804)